

イスラエル国内における新型コロナワクチン接種について
(2021年5月28日現在)

在イスラエル日本国大使館

イスラエルでは、昨年12月から新型コロナワクチンの接種キャンペーンが展開され、ワクチン接種が順調に進んだため、現在、新規感染者数は20～30人/日に激減しています。またワクチン接種対象者のうち、希望者は概ね接種を完了していることから、全国各地に設置されていたワクチン接種会場が相次いで閉鎖され、接種者数は、5千人/日程度にまで低下しています。そのため、最近イスラエルに入国し、ワクチン接種をまだ完了していない在留邦人の方にとっては、ワクチン接種を受けることが困難な状況になっています。

現時点で、確実にワクチン接種を受けるには、イスラエルの国民皆保険制度を担う保険維持機構（HMO）に加入する必要があります（保険料の支払が必要）。HMOには4社（Clalit, Maccabi, Meuhedet, Leumit）ありますが、これらのいずれかに加入すると、各社のホームページからワクチン接種の予約を行うことが可能になります。

HMOへの加入には、イスラエルIDの所持、一定期間以上のイスラエル国内滞在などの条件が課されている場合が多いようですが、MaccabiのThe Wellcome Programのように、イスラエルIDを持たない駐在員、留学生、旅行者の方が滞在期間等の制約なしに加入できるプランもあります。詳しくは以下のリンク先をご確認ください。

https://www.maccabi4u.co.il/3423-he/Maccabi.aspx?TabId=30607_30618

なお、テルアビブ市が、不定期で、6 Hagalil Street（セントラルバスステーションの北）に、予約なしで接種可能な移動式ワクチン接種スタンドを設けていますが、同市当局によれば、このスタンドは在留資格のない外国人労働者、難民、国外から来たイスラエル人を対象とするもので、有効な査証を持つ外国人労働者や留学生、旅行者は原則として対象外とのことです。同スタンドに行かれても接種を受けられない可能性が高いので、ご注意下さい。

<https://www.tel-aviv.gov.il/Pages/MainItemPage.aspx?WebID=3af57d92-807c-43c5-8d5f-6fd455eb2776&ListID=81e17809-311d-4bba-9bf1-2363bb9debcd&ItemId=1384>